

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 6-2-4	事務事業名 一時保育事業	所管部課 子育て支援部 保育課
----------------	-----------------	--------------------

施策コード 創2-2	施策名 子育て支援の促進	施策目標 子どもを安心して産み、健やかに育てられる環境づくりを進めます。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単補助額) 等 該当する予算事業名・節目を明記する	
	西原保育園(定員10名)、しもほうや保育園(定員6名 H21年から委託)、ほうやちよう保育園(定員6名)、みどり保育園(定員6名、H18年から委託)、田無保育園(定員6名 H19年から委託)の5園で一時保育を実施している。利用時間は8時30分～17時であり、電話予約(週3日限度)となっている。費用は、4時間以内が1,200円、4時間を超える場合は2,400円であり、その他実費負担として昼食200円、おやつ150円となっている。 補助制度: 都補助金(900円×利用人数+1,800円×利用人数)×2/3 子育て推進交付金 民間委託園: 委託料に一時保育事業に係わる人件費分を計上 予算科目: 民生費・児童福祉費・保育園費・子育て支援事業・一時保育及び緊急一時保育事業	
	事業開始時期 平成13 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()	

事業費データ	項目	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	事業費(A)			7,705	13,016	13,033
財源	国庫支出金・都支出金	千円	5,432	4,242	5,679	6,819
	地方債					
	内: その他 (利用料・実費負担分)		13,010	11,253	11,253	8,528
財源	一般財源		-10,737	-2,479	-3,899	2,674
所要人員(B)	人		0.80	1.00	1.00	1.00
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		6,529	8,269	8,165	8,165
臨時職員等賃金(C')	千円		17,345	18,300	19,834	15,097
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		31,579	39,585	41,032	41,283
単位当たりコスト (E)=(D)/ (年間利用人数)	千円		5	6	5	#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	実施園	実績値	園	4	5	5	5
定員	実績値	人	28	34	34	34	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 実施園は18年度、19年度で1園ずつ増加。 実施園の増加に伴い定員も増加した。							
評価指標の設定	成果指標		単位	18年度	19年度	20年度	21年度
	一次 年間利用人数	目標値	人				
実績値		5,924		7,013	7,589		
二次 稼働率	目標値	%					
	実績値		86	84	91		
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)年間利用人数は増加している。 (二次)稼働率: 年間利用者総数(人)÷230(日)÷総定員(人)							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	次世代育成支援行動計画ニーズ調査報告では、「満足」「まあまあ満足」を合わせると85.7%と高い数値である。また、今後利用したいまたは足りないサービスとしては、25.6%の人が一時保育を取り上げており(上位から2番目)需要の高さを示している。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 1市を除いた25市で実施しているが、実施施設・形態は様々であり比較が難しい。1日利用の場合最も高額は5,000円、最低額は2,000円である。平均では約2,800円程度である。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 市内の認証保育所において、一時預かりという方法で実施しているが、定員に空きがある場合という条件なので、利用が限られる。

事業コード 6-2-4	事務事業名 一時保育事業	所管部課 子育て支援部 保育課
----------------	-----------------	--------------------

施策コード 創2-2	施策名 子育て支援の促進	施策目標 子どもを安心して産み、健やかに育てられる環境づくりを進めます。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度(緊急性)	3		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input type="checkbox"/> 拡充	稼働率が高いこと、また年間登録人数、年間利用者数が確実に伸びており今後の住宅開発による就学前人口の増加を考えると、本事業の需要は高い水準で推移するものと思われる。また、ニーズ調査においても、このことを裏付ける結果となっている。 本事業は、一時保育実施のための専用スペースが必要なため、園舎の改修が必要であり、実施園をどのように拡大していくかが課題である。また、26市の今後の動向を踏まえつつ、費用負担の公平性という観点から、利用料についても検討する必要がある。なお、予約方法については、利用者の声を聞きながらよりよい予約方法を調査・検討することが課題である。
	事業の必要性	3			<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	2			<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し			
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止			
	受益者負担の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 廃止			
C	市民ニーズの把握	3				

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度(緊急性)	2		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input type="checkbox"/> 拡充	本事業は、保育園に入所している世帯だけでなく、在宅で子育てをしている全ての世帯を支援するための事業として需要も高く、順次実施園を増やして受け入れ児童数の拡大を図ってきている。 これまでは、施設の増改築により専用スペースを整備して事業を実施しているが、今後については財政状況などを考慮して、保育園の空きスペースなどを活用した効率的な事業の実施や予約の利便性向上について更に検討されたい。
	事業の必要性	2			<input type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	2			<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し			
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止			
	受益者負担の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 廃止			
C	市民ニーズの把握	2				

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本事業は全ての子育て家庭を対象としており、ニーズも高く、子育て支援策としての効果も高いと判断される。本事業を実施するには一定のスペースが必要であるが、従来の保育園の増改築により対応する手法では限界があることから、園内の空きスペースの活用なども視野に入れて、効率性の面にも留意しながら、サービスの充実に努められたい。